

第二期いずみおおつ子ども未来プラン（案）に対する
パブリックコメントの結果について

- ◇ 募集期間：令和元年12月3日（火）～令和元年12月24日（火）
- ◇ 募集方法：郵送、ファックス、電子メール、子育て応援課へ持参（また、市内公共施設等に意見募集箱を設置）
- ◇ 提出人数：17人
- ◇ 意見件数：10件（同種の意見は1件としています。）
- ◇ 意見概要及び市の考え方

	意見・提言の概要	市の考え方
1	<p>【計画策定における考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがすでにいる世帯の支援をするなんてオリジナリティがない。子育てを目当てに転入する層を引き込むことよりも、産む体制を整えることに注力すべきである。少子化は、大人が子どもを作る余裕がないことが原因である。子どもの貧困と大人の貧困は地続きだ。貧困問題として扱うべき問題であり、子どもを増やす問題とごっちゃにしてはいけない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出生数の減少、子育て世帯の転出超過のいずれもが課題であり、P42の基本理念では、「子どもを生みたい・育てたい」と思えるまちをめざすとしています。基本理念に基づき、経済的支援も含め、子どもへの支援、親（家庭）への支援、子育てを支える地域社会の育成など様々な視点で、妊娠・出産から子どもの成長に応じた切れ目のない支援を総合的に推進します。
2	<p>【保育料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0～2歳児も保育料を無償化してほしい。利用する人が増え、働く女性も増えると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児への負担軽減策については、引き続き子育て世帯の未就学児の教育・保育に係る経済的負担が少しでも解消されるよう、国や大阪府へ要望します。
3	<p>【保育施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最低限の良い保育環境を整えるためには、保育所の修繕が不十分である。 ・子どもの毎日の生活に欠かせないトイレ改修や遊具の設置などは優先してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育施設の環境整備については、安全の確保のため、緊急性の高い事案から対応しているところです。また、トイレ改修や遊具の設置についても必要性は認識しており、対応を進めています。

<p>4</p>	<p>【保育士確保・処遇改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラン中の待機児童解消に向けた利用定員の確保方策は、保育士の確保があつて初めて成り立つものであるが、保育士の処遇改善具体策や保育士の声にあたる部分が見当たらない。保育士の待遇や労働環境を他市町村と差別化できるレベルに見直す必要があるのではないか。アンケート等で保育士のニーズを調査する必要があると思う。 ・保育士の採用拡大（正職員）にもっと力を入れてほしい。人数を増やして休暇を取得しやすくする。給与面も含め待遇が良くないと辞めてしまう。 ・保育士を確保するために処遇を改善し、正職保育士の欠員を補充してほしい。これが、待機児童を解消して保育ニーズに応えていく唯一の道である。 ・保育士の中途採用を実施していただきありがたい。市が保育に関心のあることを嬉しく思う。 ・支援や配慮を必要とする園児への介助員の加配を。最近、配慮が必要となる子どもが多いと思う。保育士不足で、保育士を確保しなければ介助員を配置することもできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の採用については、引き続き関係課と協議し、適正な人員配置を目指して進めていきたいと考えています。また、待遇改善等にも努めます。
<p>5</p>	<p>【病児保育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病後児保育を実施している園はあるが、手続きの手間や仕組みのわかりにくさで利用が少ない。保育士からしても、一時利用の子どもはアレルギーや体調など、あらゆることに気をつけなければならず大変だと思う。病院内に併設すれば親も安心して預けられる。 ・市立病院の再編により周産期・小児医療に特化すると聞いているので、病児保育室の病院内設置が十分可能になるのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育の実施については、児童の病態の変化に的確に対応することがさらに求められることから、医療機関等との連携体制を整備する必要があり、その実施について、調査、研究を行っています。 また、病後児保育の拡充については、現在の利用状況を踏まえて検討します。

<p>6</p>	<p>【仲よし学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午後6時まで実施は、目的である保護者の就労支援から外れ実情に合っていない。午後7時まで実施してほしい。 ・近隣他市は延長で別料金をとってでも午後7時まで実施している。保育所・認定こども園は午後7時までなのに仲よし学級は午後6時までだと、1年生になったら職を変えざるを得ない。フルタイムで働けなくなる。 ・午後6時までではパート勤務のままではいけない。働きたくても働けない状況は改善していただきたい。 ・学年が上がるにつれ、平日は利用していなくても、長期休暇中に子どもだけで留守番をさせるのも心配になるので、そういったスポット的な利用をできるようにしてほしい。学校が長期休暇に入ったからといって、その間休職や退職ということもないはず。安心して働けることは子どもの健やかな育成につながり、未来にとって意義のあることだと思う。 ・ニーズ調査によると、学校の長期休業中の仲よし学級の利用を希望する割合が高くなっている。早急に実施していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4章「ニーズ調査結果と計画策定に向けた課題」における、P39「3. 計画策定に向けた方向性」の「放課後児童健全育成事業の充実」に記載のとおり、仲よし学級の量と質の確保や、保育時間延長などのサービス向上の実現に向けて検討を進めます。
<p>7</p>	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療やブライダルチェックの費用は高い。それを続けていくことは精神的にもつらいと聞き及ぶ。不妊治療に対するカウンセリング体制や窓口を設置する、できることなら、不妊治療や妊活に対する金銭的援助を提言したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別事業のご提案については、貴重なご意見として参考とさせていただきますが、不妊治療への金銭的援助については、第6章「施策の展開」における「1-(4)妊娠・出産及び乳幼児期の親子の健康づくりの推進」として「不妊に悩む方への特定治療助成」をP50に記載しており、既に実施しています。

8	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ予防接種について、家族全員で接種すると高額になるので何割か安くなる制度にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別事業のご提案については、今後の事業展開を図るうえでの貴重なご意見として参考とさせていただきます。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の教員の増員を希望する。保育所・認定こども園もそうだが、担任の先生の負担が大きすぎ、疲労など限界のように思える。いつも一生懸命やってくれる担任の先生には感謝しているが、副担任や科目ごとの先生がいたら担任の負担も減ると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の教員の定数は国及び府において、各学校の学級数に応じて決められています。担任等の負担軽減についても市として支援はしており、今後も継続します。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊べる場所を作ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第6章「施策の展開」における「3-(1)地域共生の青少年健全育成の推進」として、「安全な遊び場の確保」をP61に記載しています。 市では、公園の適正な維持管理を行うためにも、泉大津市公園整備マスタープランに基づき、既存公園の効果的な再整備や効率的な維持管理を順次進める方針です。